

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第6回 桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年2月19日(木) 16:00 ~ 17:30

2 場 所 家庭科室

3 あいさつ(委員長)

(1) 委員長より

本日は第6回目ということで、今年度最後の学校運営協議会である。まとめや反省などを行う。意見のある方は是非、聞かせていただきたい。

(2) 学校長より

いよいよ学年末だ。昨日も明日の六年生を送る会のリハーサルをしていたり、卒業式の提案がでてきていたり、児童会の来年度の役員選挙を今、進めている状況だ。1年の終わりを感している。昨日のリハーサルも、子どもたちは本当に頑張っていて、1年間の成長を感じられる。先生たちも子どもたちを頑張ってきたなと思っている。この後、来年度にどう引き継いでいくかが大事。混乱なく新年度を子どもたちが迎えられるように引き継ぎをしっかりと、改善すべきことは、来年度に向けて改善して取り組んでいきたいと思っている。また、学校の方も支えていただけると、と思う。よろしくお願ひします。

4 協議内容

(1) 学校評価について

A3資料を見てほしい。学校関係者評価をたくさん書いていただきありがとうございます。それを受けて、今後の改善点を職員で話し合っ入れて。見ていただきたい。評価を書いていただき、感じたこととか補足させてもらいたいことについて話をさせていただきたい。

・学力向上×ICTの活用

書いていただいあるように、子どもたちにしっかりと声掛けをして、子どもたちの不安を取り除いていくことや子どもたちに自信をつけさせていくことが大事になっていくと思う。ICTの利用についても、不安に思っている子もいるだろうということで、フォローをいれていく必要があると思っている。

学力に関しても他のアンケートに関してもそうだが、しっかりと結果を分析して次に

つなげていくということが大事だと考えさせられた。ありがとうございます。

子どもたちに読解力をつけていくことも取り組んでいきたい。

4年生の-0.2 ポイントの件について。どこの間違いが多かったのか。これは、漢字の部分と文章で記述する部分が今の4年生の課題と見えてきている。

5年生の2回目の結果について。県の入力締め切りがまだで、しっかりとした数値はまだわからないが、感觸的にはどちらの教科も平均は超えていると思う。

#### ・長期欠席対策

「アンケートの目標値が保護者は100%なのに、子どもの方は90%とあるが、子どもの方が大事なのではないか」との意見に対して、全くその通りであり、子どもの気持ちを優先していきたいと考える。

「保護者アンケートについて。10名程度の保護者が『いじめにきちんと学校は対応できていない』という回答だった。その人たちの不安を取り除く対策が急がれる」との意見があったが、保護者アンケートは記名式でないため、相手の特定はできないが、どのクラスにいるかはわかる。「いじめの対応に不安を感じる児童や保護者」がいることを意識しながら、対応している。

学校での携帯電話の使用や保管場所について。本校では、学校では使用しないことになっている。保管は自己管理。各自がランドセルの中などに入れて保管している。学校で預かるということは、していない。

#### ・非認知能力の育成

書いていただいたように、家庭への啓発が大事だと考える。どのように啓発していくか、考えていく。「地域で何かできる分野なのではないか」とも書いていただいていた。どのように地域と連携して、子どもたちの非認知能力を高めていけるかを模索していきたい。

非認知能力アンケートについて。「経年の傾向、入学時からの変化を見比べてはどうか」と意見をいただいた。非認知能力アンケートは4・5・6年生に実施しているものであり、1・2・3年生は回答していない。また、アンケートが始まって、3年目である。経過を追いながら、分析できれば、と思っている。

#### ・地域連携

快く見学を受け入れて、学校は地域の世話になっている。

「中高学年の児童から低学年に伝えられていくとよいと思う」との意見について。「子どもから子どもへ」というのは、聞いた子どもたちも感じるものも多いと思う。地域学習の取組が子どもたちの主体的な取組につなげていき、「他学年に伝えたい」という気持ちに持っていけるといいと思う。

5年生の自主防災の学習を地域につなげられなかったことについて。実は学校運営協議委員さんにも相談させてもらって、市役所の防災危機管理課を紹介していた

だいたいが、その時期は課が忙しかったらしく、実現できなかった。桜島の自主防災をお行っている方に地区の防災について、話していただけたりするといいなと思っている。そういう方とつないでいただけたらとありがたい。

(○:委員の発言 ●:学校側の発言)

○	今、玉垣地区は桜島小学校と玉垣小学校の2校があるが、対策についていろいろでてきており、4月以降にでてくると思う。また、危機管理課はなかなか忙しいので、消防団に言えば、消火器などの使い方について協力してくれる。
●	それは、3年生が毎年お世話になっている。
○	あとは、地震の体験車とか。県に2台しかないので、予約してもらわないといけないが。いってもらえればできると思う。
●	いろいろつないでいただいて、ありがとうございます。ここにも書いてある通り、南海トラフが心配される場所なので大事なことだと思っている。
○	それと、オリングボックス。倉庫の中に入っていると思うが、中をみてもらっていないと思う。防災倉庫を開けていただくと、入っている。最初に開けた人はまず、読むことになっているものがある。日にちを決めて、保護者にも来てもらって、みてもらいたいと思う。学校は緊急避難所には指定されていないと思うが、1度みてもらって面白いと思う。あまり開けることがない。

#### ・学校における働き方改革

「下校後のトラブルに関して、学校は干渉しないと手紙を出すことはどうか」という意見について。保護者に理解してもらうことは考えていかなければならないとは思っている。しかし、どのような文面の手紙なら理解を得られるかと考えると難しいことだと感じる。

「年間360時間を超えている職員(5人)に傾向はないのか」との意見について。たしかに20代の若い職員が多い。実は、実数というのは単純な学校滞在時間ではない。自己研鑽的な時間は勤務ではないという考え方で引き算をして自己申告で労働時間を計算しているところがあるため、引っかからないように調整して出しているところもある。実態はベテランの職員も滞在時間としては360時間を超えている。

以上、学校関係者評価をいただいて補足させていただいたところだ。何かありましたら、よろしくお願いします。

協議(○:委員の発言 ●:学校側の発言)

○	<p><u>学力向上・ICTについて</u></p> <p>昔の授業からは、想像できないくらい変化していて、これから先も変化していくだろうと感じているが、先生方はそれについていけているのか。残業時間の規定もあるが、これからの授業には準備時間が必要だと思う。先生方も新しい技術に追い付いていないと、新しい技術を取り入れた授業はできない。専門・専任の方がそこを援助でき</p>
---	--

	<p>るような制度がないと、難しいと思う。「小学校では、ここまでしかない」と区分けがされているのか、それとも新しいものが出るたびに必死になって追いついていっているのか。</p>
○	<p>たしかに(生成 AI は)便利だ。秒単位で回答がでてきて、いろんなデータを入力するとさうとうシビアな回答がでてくる。完璧ではないが、早い。</p>
○	<p>忙しいと思うが、生成 AI を全く取り入れないこともどうかと思う。</p> <p>英語の授業などでも、会話形式で、英語で答えてくれるから、発音の練習とかに応用し始めているそう。高校生などは chat で英会話の練習をすると思うが、小学校ではどうなのか。</p> <p>算数の足し算の答えがぱっとでてくるとか、計算のスピードをあげる訓練に使ったりするのか。昔、そろばんのフラッシュ計算が流行った時期があったが、そういったような授業が充実していけば、学校でもぱっとできたり、家庭学習の中に取り入れてみたり、塾などへ行かなくてもパソコンがあれば自分たちで学習ができるようになってくると思う。</p> <p>どこまで小学校に影響があるのか、心配もあるが、いい面もあるだろうと、興味を持っている。</p> <p>そういったものをうまく取り入れれば、先生が助かる部分もあると思う。しかし、取り入れるには、先生がまず勉強して、使い慣れるというか、いいところと悪いところを評価してから取り入れることが必要。そのあたりが大きな課題だと思う。</p>
○	<p>AI について。今は、どんどんそういう時代背景になっているから無視もできない。ここ 4、5年で AI とか言い出してから急速に発達した。日々進化しており、アナログ人間からすると大変だ。</p>
○	<p>携帯がすごくコンピュータ化していて、家で PC が必要なくなっている。一概に学校で PC を使わせるということではなく、子どもはいつの間にか使えるようになってくるから、変なところにアクセスして、課金されたり、いろいろな問題が起きたりすることを防ぐためにブロックするとか、セキュリティを学校で教えてもいいと思う。「ネットは便利」「AI は便利」というばかり言われているが「怖い」ことについても指導がいるのではないと思う。子どもは何も考えないで、おもしろかったらしてしまうので、怖い世界に入ってしまうこともあると思う。その辺りが難しい。</p>
○	<p><u>長期欠席者対応について</u></p> <p>いじめの内容というのは、時代によって変化はあるのか。</p>
●	<p>子どもが「いじめ」と感じたら、いじめだと扱っている形になるので、相手がちょっといをかけただけのつもりであっても…というケースが結構多い。</p>
○	<p>受け止め方によって違うということか。</p>
○	<p>長期欠席して、休みがちの子がいると思うが、そういう子たちはどこで学びを補っているのか。フリースクールなど、授業の補完場所を学校は紹介しているのか。</p>
●	<p>していきませんが、なかなか繋がりにくい。</p>
○	<p>フリースクールは、費用が結構高いと聞いた。月3万とか。そのお金が出せる家は良</p>

	<p>いが…。学校に行ってくれたら無料で受けられるのに、3万と思ったら…。ある学校のシングルの保護者から「子どもが学校に行ってくれないと、仕事に行けない。かといって、フリースクールに通わせるお金もない。どうしたものか。」と相談を受けたことがある。難しい問題である。</p>
●	<p>市にも受け入れの施設はあるが、子どもが歩いて行ける場所ではないので、送迎が必要となる。保護者が送迎できるかということも、課題となっている。</p>
○	<p>休みがちな子がだんだん増えてきて、原因もわからないし、登校を推し進めない家庭も増えてきた。そういう考え方が主流かと思うのだが、そうなったときにどこかで勉強を補うことができるようには、まだなっていないように感じる。近くで受け入れ先とかあれば、そこで学校で習うようなことを学んで、中学校へ進学することができると思う。何もせずに中学校へ行ってしまうと、当然勉強がついていけないので、また同じようにずっと3年間、行かずに終わってしまいがちだと思う。学校に代わるような、そういった子が集まれるような場所ができたらいと思う。地域で何か協力できることはないかと考えるが、地域で支えるのは難しい。</p>
○	<p>千葉県習志野市で、地域の自治会が関与して、退職された先生とともに、下校後の2時半から6時半に、集会所や空き教室を使って、行っているところがでてきた。不登校の子とは限らない。地域の年寄りがぶらぶらしているぐらいなら、旗当番や昔話をしたり、簡単な読み書きなら教えることができる、行動しているようだ。地域の人がそういう風に関わってくださるとありがたいと思う。</p> <p>桜島小学校は、昔からみると、だいぶ人数が減ったようだ。昔は800名ぐらいいたと思うが。</p>
○	<p>以前はそれぐらいだった。今は600切って580名ぐらい。1学年3クラス。</p>
○	<p>昔は多い時は5クラスぐらいあった。</p>
○	<p>なので、空き教室はあるか。空いている教室はないように思うが…。</p>
●	<p>特別支援学級が増えてきているので、学級数としては、結構ある。</p>
○	<p>特別支援学級はほとんどマンツーマンか。</p>
●	<p>MAX8名。1クラス7、8名は在籍している。</p>
○	<p>(長期欠席者対応教室は)特別支援学級みたいになるのだろうか。</p>
○	<p>小学校の授業を動画にして、好きな時間にみることができたら、少しは補うことができるだろうか。「この要点だけおさえておいてほしい」という単元動画を作っていたら、作っていただいた動画は毎年更新しなくてもよくて、貸出みたいなことができる。そういったものがあれば、「自分はこの時休んだから、ここら辺の単元を見たい」という希望者に貸し出せるような、そういった教材が無料であれば、家で時間が余っているときに学習できると思う。子どもたちは、日中、ずっと部屋に籠っているのか、遊びにいたりしているのか、わからないし、親も仕事へ行っていたら(欠席中のこどもの様子を)みていないと思うが、授業の補完動画がみれたら、少しは復帰したいときのための力が少しはついてくると思う。</p>
○	<p>授業を録画して、QRコードで読み込めるようにしたりすると、復習にも使えると思</p>

	う。通信の状況にもよると思うが。
●	他の児童が…
○	映り込むとだめ。
●	授業だと、声はどうしても入ってしまう。クラスで学習している子どものプライバシー問題が難しい。
○	今、いろいろな会社がソフトを売っている。
○	そういった教材は探せばあると思うが、それが、学校からでたものであれば、安心して使えると思う。そういったことも、今後考えていただければよいかなと思う。
	<u>非認知能力について</u>
○	非認知能力が、学校で取り上げだしたのは、何がきっかけか。突然取り上げられたように思う。実は、生涯年収に対して学力が与える影響は僅かであり、影響を与えるのは、社会性とか、人とのかかわり方とか非認知能力であると言ってみえる方がいたが、学校が取り上げだしたきっかけは、何だったのか。自己肯定感などが大事といわれるが、当時はそんなに意識していなかったと思う。何時から変わってきたのか。
●	昔は自然に養われてきた力が、社会状況の変化によって、自然に養われなくなったから意図して養っていかないといけない、と聞いている。だから、学校頑張っていけという感じ。
○	4、5年前にはあまり言われてなかった気がする。
●	3年前ぐらいに重点項目としてあがってきた。
○	海外の方から注目をあび始めたらしい。実験・調査した結果、能力を伸ばした子の方が将来的に幸せになる高いと聞いたことがある。
●	非認知能力の高い子は幸福感が高いと聞く。
○	自己肯定感というのは、与えるものでもなく自分で目覚めるものだと思ふ。ただ、教えてもらうことが「嬉しい」と受け取る方が自己肯定感もあがって、「一緒にできるようになった」となる。クラスの中で友達に教えてもらって何かを作るとか、わからないところは先生に聞きに行く。個人ではなくて、グループ的に仲間意識といったら変だが、やっぱり自分やりたいことを友達にも言えて、一緒に「こうしたらいいよ」と教えることを個人個人ではなくグループ的な感じにしていくと、自分を卑下することがない。先生も「できたね。よかったね」と成果も認めてやったら、高学年でも褒めてもらうとすごくうれしかったという子がいる。高学年と低学年はちがうかもしれないが、「わからなかったらなんでもききな」という先生の方の受け取り方というか、先生に聞けるという雰囲気、そういうのがあると、子どもたちは、おだってなにかいうこもいるかもしれないが、気軽に先生に聞けるというのは、小学校でしかないのも、そういうのを大事にしてほしいと思う。
○	学校の先生というのは、昔に比べてあまり怒らないのだろうか。
○	怒らないと思う。怒っている姿をあまりみたことがない。
●	アンガーマネージメントをいわれている。「怒鳴る」ということはほとんどなくなっている。

○	<p>先生の方から声をかけることは多いのか。</p> <p>先生にびしと言われるとあって、近寄らない子もいると思うが、例えば授業中、パラパラと本をめくっている子に対し「どこかわからないのか」とか、「これ、落ちそうだよ」とかでもいいので、先生の方から声をかけてもらうとコミュニケーションがうまくいくのではないかなと思う。高学年になると、先生の側ができていて、あまり冗談も言えないし、先生も冗談を言わないという話も聞いたりする。もうちょっと柔らかくしたらどうかと、子どもの話から聞いたことがある。</p>
○	<p><u>地域連携</u></p> <p>それぞれの自治会で子ども向けの行事をされていると思うが、出席率はどのようなものか。</p>
○	<p>わたしのところの自治会は、子どもオンリーというわけではないが、参加者は多い。</p>
○	<p>今は、暁だけでやるというよりも子どもたちのつながりで、玉垣や桜島からも参加者がやってくる。受け入れてはいるが、暁には集会所がなく椅子にすわらせることはできないから、御座を敷いて詰めて座っている。</p>
○	<p>この間、ボーリング大会を地域主催でした。全体で70名ぐらいが参加して、そのうち子どもは半分の30名ぐらい。幼稚園児も参加しており、小学生だけではないが。子どもは比較的来てもらっている。</p>
○	<p>そう。ウォークラリーも親子で来てもらっている。一定数、同じ人かもしれないが。案内をだしたら、参加してもらっている。</p>
○	<p>地域の子どもの対象のイベント、催しは、好きな方が参加して、同じ人によく会うと思うこともあるが、最近、南自治会では、いろいろ行事はあるが、その中でもちょっと変わってきたと思うことが、夏休みのラジオ体操。この夏、すごく参加人数が増えて、しかも、今までだと増えたといっても子どもの参加者が増えたのが、親子が増えた。親御さんが一緒に来て、出勤前だと思うが、お子さんと一緒にラジオ体操をして帰っていくのが増えてきた。みなさんのところはどうか。</p>
○	<p>うちのところは老人が増えた。多い時だと60人ぐらいの参加者。うちは7月20日から1か月行う。最終日に景品を渡して、皆出席の人には¥1,000ぐらいの図書カードを渡している。子ども対象だったが、最近、ご老人の出席率が高くなって…。</p>
○	<p>地域の高齢化がすすんでいるので、うちもご老人も増えている。が、親子で参加する人が増えたと思う。親子で、休みの日とか仕事の合間とかに一緒に何かすることを心掛けているのかなという印象がある。最近、参加の仕方が変わってきた気がする。「子どもだけでも参加できる」と書いてあっても、親子で参加される。親子で参加するイベントがいいのかなと、そういうものを求められているのかなと感じている。</p>
○	<p>非認知能力の関係で、親子で何かを試みようという気持ちになっているのかと考える。そういう機会を地域が提供できているかなと思う。少し考え方が変わってきたのかと思う。前は子どもが自立してというか、子どもが参加して、子どもが主体でやっていく行事の方が子どものためになるのではないかなという意識もあったのだが、最近あまりそういうのを聞かない。親子で参加できるイベントの方が好まれるのかなと考</p>

	える。変わってきたなと思う。
○	<p>うちは、上の子は「友だちといく」というが、下の子は友だちをさそっていけない。「ママがいけないなら、行かない」という。もしかしたら、子どもがお母さんと一緒じゃないと行きたくないというパターンもあるかもしれない。</p> <p>友だちの誘い方がわからないようで、「『今日、○時にここで遊ぼう』って約束しておいで」「前日までにお互いの保護者に用事がないか、遊びにいいか確認してから遊んでおいで」といっても、それがまだうまくできない。祭りも「『一緒に行こう』ってさそっておいで」といって、後日「聞いてきた?」と聞いても「聞いていない」。結局、親同士が「一緒に行きたいといってるんですけど、どうですか」と連絡をとっているのので、親同士のつながりがないと遊びもない。友だちさそって2人で…ということがあまりないから、「ラジオ体操いっただいよ」といっても「ママがいけないなら、行かない」となるから、「じゃあ。一緒にいくか」という感じで親子参加している可能性もある。</p>
○	<p><u>働き方改革</u></p> <p>本当は働いているのだが、隠れている方がたくさんいるのだと思ったが、下校後のトラブルでも子ども同士のトラブルは先生の介入なしで親同士ではなかなか難しかったりするのかなと思う。</p>
○	<p>中学校は部活を地域にという話があるが、小学校はどうやったら仕事を減らせるのか。先生が元気で笑顔で接してくれたら、子どもたちも嬉しいし、それこそ子どもたちの自己肯定感もあがるのではないか。先生たちの自己肯定感もあがるのではないか。教職員の数が足りないのか。昔みたいに○人学級に先生何人とかではなく、もう少し教職員数に余裕が…、なり手が少ないので難しいか。教職員数にプラスアルファができるといい。</p>
○	<p>下校後の話は、保護者の方から電話がかかってくるのか。子どもたちが「あそこでケガした」と飛び込んでくるのではなく、のちのち保護者から「放課後にこういうことがあったみたいなんですけど…」と電話がかかってくる感じか。</p>
●	そうですね。
○	担任を持っている先生ほど忙しい?
●	そうですね。忙しいですね。
○	<p>学校以外、頼るところがない。ケガしたとか、友だちと喧嘩したとか不審者が…とかでもやっぱり学校に言うかなと思う。別の相談できる場所ができたらいいが、自治会の中にもそういう場所はない。</p>
○	<p>玉桜の方で、カフェをやっている。不登校の児童を寄せて、親御さん同士で話をする。しかし、恰好悪いという雰囲気もあって、「個別の部屋にしてほしい」と言われて、それも考えているそうだ。ソーシャルワーカーなどにもお願いして参加してもらっているが、個々によって悩みが違うので、同じようにはいかない。</p>

(2) 今年度の学校運営協議会について

●	<p>学校側としては今年、校区の危険個所を地図を見ながらみんなで情報交換したことは良かったと思う。第3回で授業の様子を参観していただいて、何を大事にしているかなどを話させてもらえたことも良かったと思う。</p>
○	<p>ICT にしろ、AI にしろ、情報が発達しすぎて、ついていけない、対応しきれない。技術の発展と同時に人と人とのコミュニケーションが薄まってしまって、人間離れた感覚の人が現れてしまう恐れもある。やはり、学校教育というものは温かい人同士が接してできるなど、学校が持っている良いところを続けて欲しいと思っている。</p>
○	<p>ICT などの横文字も勉強させてもらって、みなさんについていくのが精一杯だった。逆にお世話をおかけして、ありがとうございました。</p>
○	<p>1年間、ありがとうございました。授業参観には参加できなかったが、ここで話するとペーパー上のことが多いので現場をもっとみせてもらう機会とか chromebook の実技とか、学校の内容がわかるようなことを教えてもらったら、もっと話ができるのではないかなと思う。自分が学校に来てなくて、申し訳ないが、もう少し目に見えてわかるようなものに触れ合いさせてもらえるとありがたいかなと思う。</p>
○	<p>いろんなお母さんと会うこともあるが、この場所にももう少し児童の保護者、学年に1人ずつとか入ってもらっていると、状況がよくわかるのではないかなと思う。保護者の口から先生方にきちんといえる窓口みたいなところがあるといいなと今年1年、思った。</p>
○	<p>なかなか保護者の立場だけだと、わからない学校のことについて、いろいろみなさんの話を聞いて良かったと思う。私と一緒に保護者の方って知らないことがたくさんある。知らないからこそ不満をためていたりとかそういうことを感じているのではないかなと思う。保護者の方にご理解を得られる機会があればいいなと思った。</p>
○	<p>先ほどおっしゃっていた通り、学校が動いていることを知らないことが多かったので、もっとアピールしていかないと、保護者の人は「こうしてくれたらいいのに」と思う。保護者の方に伝わっていないことが多々あると思う。保護者の声の情報収集を頑張りたいと思う。</p>
○	<p>わたしはどちらかというと自分の子どものことで精一杯で、こういう全体のことは人任せにしていたことが多かったと思う。こうやって、このような会に参加させてもらっていろんな人の思いや考えを聞いて、自分も考えるきっかけになった。意識が変わった。もっと、いろんな人に参加する機会があればよいと思う。いろんな人が子どもたちのことを本当に一生懸命考えてくださっていて、本当にありがたいことだと思った。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。</p>
○	<p>子どもが卒業して6年になる。ボランティアで子どもに接することは多いが、今の保護者の困りごととかが、私たちの時代と全然違う。我が子の時は、chromebook はなかったし、携帯のトラブルもほとんどなかった。今は今でたいへんだなと思う。今のPTA、保護者の話も聞いて良かったと思う。ここで話し合えたことを他の保護者の方に発信できる機会があれば、「こういうことを学校は考えてくれているんだな、地域は考えてくれているんだな」ということがわかって、もっと保護者たちも協力してくれるの</p>

	ではないかと思う。1年間、ありがとうございました。
○	学校に来るという機会があるだけで、自分の中で子どもに対して愛着というか愛情がわく。そういう感情がおこるので自治会で行事を考えるときに「子どものためにもうちちょっとがんばってみようかな」と思える。夏休みのラジオ体操なども「何のためにしているのか」と思うこともあるが、学校の方針を聞くと「役にたつこともあるのではないか」と思えるので、自分も励みになって頑張れていると思う。この会に1年間参加させてもらって、感謝している。みなさんのご意見が伺えて、大変勉強になった。ありがとうございました。

## 5 教育支援課より

今日は最後ということで、本当にこの1年桜島小学校の学校運営についていろいろとご指導、ご助言いただきましてありがとうございました。

学校評価にこんなにたくさんの意見をいただいて、みなさんの意見が基で、どう改善していくかということなので、改善点の方をみてほしい。自分らの意見によって、学校は来年度どうしていくかとなる。すべてがすべてではないが、その意見を取り入れて、令和8年度の桜島小学校の取組について改善をしていくのが、この学校関係者評価である。また、時間があるときに、みなさんの意見を受けて、桜島小学校の職員がどう検討したか。これを読んでもらうと、学校評価を受けて学校も動いていくことがわかるし、来年度の学校経営の様子をみてもらうと改善が方針に少しずつ加わっていくことがみえる。会社でも同じだと思うが、PDCA サイクル、らせん状に回る。同じところをぐるぐるまわっても変化はないので、桜島小学校のように、皆さんからのご意見を聞いて、改善していけば令和7年度よりも令和8年度の方が取組内容はさらに良くなっていく。それがどんどん重なっていくと、桜島小学校は年々バージョンアップしていく形となる。そういう点でご理解していただけるとありがたい。

今日はこの意見を踏まえてのことで、学力をどうしていくか、ずばり言われてしまった、「先生たち、ICT についていけるのか」。先生たちは、実は大変である。おっしゃられたとおり、新しいものがどんどん入ってくる。Chromebook だけでも大変なのに AI も入ってくる。それを学校でどう扱っていくかを教育委員会の指導課というところで一生懸命考えている。AI を子どもたちにどう使わせていくかは、今の課題である。検討したうえで、子どもたちがうまく AI に乗っ取られないように、うまく使えるようにしていこうとしている。授業でも chromebook を学ぶのではなく、chromebook を使って自分の考えを表現したり、友だちの意見とやりとりをしていくという方向で市としては考えている。その視点で今後の授業をみていただきたい。

長欠席については、欠席理由がなかなかつかみづらい。今は多様な社会になっているので、ある意味、学校に行かない選択があるみたいなご家庭もある。そういった家庭に対して、どういうふうに学校側が働きかけるか、非常に難しい。いろいろ不登校対策はしているが、全国的には増加している。鈴鹿市も増加はしているが、全国よりは緩やか。

また、ご意見がありましたら、教えていただけると来年度につながる。

今年一年ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。

## 5 その他

### 諸連絡

・令和8年度予定

第1回 5月14日(木) 16:00 家庭科室

第2回 6月11日(木) 16:00 家庭科室

第3回 9月18日(金) 10:45~13:00 視聴覚室

※授業参観(3限目)、会議、給食試食

第4回 未定

※白子中学校区学校運営協議会

第5回 1月21日(木) 16:00 家庭科室

※学校保健安全委員会と兼ねる

第6回 2月18日(木) 16:00 家庭科室

※予定変更等があれば、事前に連絡させていただきます。

・来年度の委員について